



2007年3月5日

日本初のロシア株ファンド「HSBC ロシアオープン」取扱い開始！ 投資信託銘柄追加のお知らせ

楽天グループのインターネット・トレーディング専門の証券会社、楽天証券株式会社（代表取締役社長：楠 雄治、本社：東京都港区）は、3月5日（月）約定分より、投資信託3銘柄を取扱い銘柄に追加いたします。今回の追加により、弊社取扱い投資信託の銘柄数は65銘柄となります。

また、当社では1月29日（月）～4月27日（金）15：00までの期間中に楽天証券が指定する投資信託をお買い付けいただいたお客様の中から毎月抽選で50名様に楽天証券ポイント10,000ポイントをプレゼントする「投資信託ビッグチャンスキャンペーン」を実施いたしております。当該銘柄は、キャンペーン該当商品に追加されます。

背景と目的・狙い

国内の投資家が保有するBRICs諸国に投資するファンドの1月末残高は、2006年末に記録した過去最高を更新し、前月比8.1%増の2兆8911億6047万円となりました。*

今回は、BRICs諸国に投資するファンドの目玉として、日本初のロシアのみを投資対象国とした公募ファンドである「HSBC ロシアオープン」を取扱うことと致しました。

ロシアは、世界第二位の石油輸出国で、大幅な貿易黒字を計上し続けています。反面、ロシア株式市場の株価水準は株価収益率の面でBRICs各国の中でもブラジルと並んで相対的に割安な水準にあります。現在、日本にはロシア東欧株ファンドやロシア欧州株ファンド等、ロシアを含めた複数の国々に投資を行うファンドは存在していますが、ロシアのみを投資対象国とした公募ファンドは日本初となります。

*ロイター・ジャパン調査より引用。

各投資信託の特徴について

「HSBC ロシアオープン」は、マザーファンド受益証券への投資を通じて、主にロシア連邦企業の発行する株式(ADR(米国預託証券)、GDR(グローバル預託証券)等を含みます。)ロシア経済の発展と成長に係わる企業の発行する株式(ADR、GDR等を含みます。)等に投資することにより、投資信託財産の中長期的な成長を図ることを目標として運用を行います。(設定・運用 HSBC 投信株式会社)

「HSBC 世界資源エネルギーオープン」マザーファンド受益証券への投資を通じて、主に世界の資源、エネルギー、新エネルギー、公益、食糧等に関連する株式等に投資することにより、投資信託財産の中長期的な成長を図ることを目標として運用を行います。(設定・運用 HSBC 投信株式会社)

「DIAM 世界好配当株オープン 愛称：世界配当倶楽部」DIAM 世界好配当株オープン・マザーファンド受益証券への投資を通じ、実質的に世界各国の株式(日本を除く)へ投資し、信託財産の中長期的な成長を目指します。なお、実質組入外貨建資産について、原則として為替ヘッジは行いません。(設定・運用 興銀第一ライフ・アセットマネジメント株式会社)